

第20回土木構造物検討会 議事録

1. 開催日時：平成26年8月20日（水） 10:00～12:10

2. 開催場所：日本電気協会 4階 B会議室

3. 出席者（順不同，敬称略）

出席委員：谷（防災科学技術研究所），衣笠（東京工業大学），原口（関西電力），
大友，松山（電力中央研究所），鈴木（原子力安全推進協会），氏家（北海道電力），
加藤（東北電力），河村（中部電力），高橋（四国電力），清水（中国電力），
若松（電源開発）（計12名）

代理出席：中野（日本原子力発電・入谷），末広（東京電力・高尾），松村（北陸電力・中村）
（計3名）

欠席委員：生貞（九州電力），山崎（首都大学東京）（計2名）

常時参加者：秦，天野（中部電力），中村（関西電力）（計3名）

オブザーバー：久松，内野（中部電力），福田（関西電力）（計2名）

事務局：井上（日本電気協会）（計1名）

4. 配付資料

- 資料 No. 20-1 第19回土木構造物検討会議事録（案）
- 資料 No. 20-2 JEAC/G4601 改定スケジュール案（土木構造物検討会）
- 資料 No. 20-3 JEAC/G4601 改定案
- 資料 No. 20-4 規格委員会からのコメント対応一覧表
- 資料 No. 19-5 耐震設計分科会からのコメント対応一覧表

参考資料（各1部のみ用意）

- ・実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則の解釈（抜粋）
- ・敷地内及び敷地周辺の地質・地質構造調査に係る審査ガイド
- ・基準地震動及び耐震設計方針に係る審査ガイド
- ・基準津波及び耐津波設計方針に係る審査ガイド
- ・基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価に係る審査ガイド

5. 議事

(1) 代理出席者の承認及び会議定足数の確認

事務局から，代理出席者3名の紹介を行い，規約に従って主査の承認を得た。また出席者は現時点で14名で，会議開催条件の「委員総数の2/3以上の出席(12名以上)」を満たしていることを確認した。（最終出席者：15名）

(2) 前回議事録の確認

事務局より、資料 No. 20 - 1 に基づき第 19 回土木構造物検討会議事録(案)が紹介され、誤記修正のうえ正式な議事録にすることが挙手により承認された。

(3) JEAC/G4601 改定スケジュール案について

原口幹事より、資料 No. 20-2 に基づき JEAC/G4601 改定スケジュール案について説明された。

(4) JEAC/G4601 改定案について

各章の作業会より、資料 No. 20-3~5 に基づき前回からの変更案及び分科会委員等のコメントの対応案について説明された。

今回の JEAC/G 改定案について、8 月末までに内容を確認し、コメントを事務局まで提出することにした。今回議論して頂いたコメント及び 8 月末までに提出されたコメントにより作業会幹事が集まって修正し、メールにて配布・確認されたもので、9 月 11 日の第 56 回耐震設計分科会と 9 月 25 日の原子力規格委員会に中間報告する。

主な質疑は下記の通り。

【JEAG 第 2 章】

- ・資料 No. 20-4 の 1 のコメントの「中期更新世以降（約 40 万年前以降）まで遡る旨、記載すべき。」の対応は規制文書の何に記載されているのかを明確に記載して対応案としたほうが良い。
→拝承。
- ・資料 No. 20-4 の 7 のコメントは「個別の手法を単独で用いた結果を重視することのないよう、総合的に判断する旨、記載すべき。」とあり、対応案の「断層の活動性については、…総合的に判断することもできる。」としているが「…総合的に判断する。」としたほうが良い。
→拝承。
- ・資料 No. 20-4 の 11 のコメントは同様な事象に対する表現が混在しているので整理することとあるが、規制側の審査ガイド等に記載されているものが混在しているが、JEAG の 2.1.2 用語の定義の(4)と(5)は審査ガイドに捕らわれずに、整理して記載すれば良い。
→審査時に審査ガイドと同様な文章を使用していないと指摘を受けるので、この様な記載としている。
- ・JEAG の 2.1.2 用語の定義の(4)，(5)については、審査ガイドと同じ文章を前段に記載し、その下に JEAG での定義を記載する様にしてはどうか。
→記載方法については、分かりやすく整理した記載を検討する。活断層の定義についてはワーキングで案を作成していただきメール審議としたい。

【JEAG 第 3 章】

- ・資料 No. 20-4 の 13 のコメントは、第 3 章 P7 の 3.2.4 動的解析（周波数応答解析）の解説に記載するように考えているが、3.2.1 評価の手順の解説に記載したほうが良いと考える。
→検討する。
- ・P36 の盛土の参考資料の参考文献に鉄道総合技術研究所の文献を使用しているが、支持地盤としての盛土なので、河川等の堤防の文献がないか調査してほしい。

→堤防の文献を調査して良いものがあればそれを使用するが、ない場合は性能に応じてという文章を追記する方向で検討する。

【JEAG 第 4 章】

- ・資料 No, 20-4 の 14 のコメントの(3), (4)についてはもう少し記載が必要と考える。

→4.3.3 の解説に記載する方向で検討する。

【JEAC 第 5 章】

- ・資料 No, 20-4 の 15 のコメントの対応案に記載予定とあるが、地中壁をもつ構造物などの例示を記載するのか。また 3 方向地震力による影響確認を実施する必要があるのか、必要により実施することで良いと考える。

→例示についてはまだ公開はされていないが、弱軸方向と強軸方向の影響解析を検討しているので、結果が出れば記載を考えている。3 方向地震力については他の章にも関係するので関係検討会で調整中であり、今回の改定には盛り込めなかった。

- ・例示についても 3 方向地震力についても必要なものについて記載することとしてはどうか。

→審査の段階でそれぞれ必要とされたものについて、例示として記載し、不要とするものについては不要とする考え方を記載する。

- ・コンクリート標準示方書が改定になり照査体系が変更になった事により、照査マニュアル等具体的な記載となっているが、本規格の記載はやや時代遅れの感がある。せめてコンクリート標準示方書を引くことは前提と考えるので、規格案の P20 の解説の記載を充実したほうが良い。

→付属書を追加する等記載内容を検討する。

6. その他

(1) 次回検討会の開催予定

次回の耐震設計分科会及び原子力規格委員会での意見により開催日を調整することとした。

以 上